



綱が墮ちるまで
その後...

わ、別れるッ
あんな奴いないからあ！

これまでのあらすじ

休暇を求めて訪れた温泉旅館。

温泉に浸かりながら、つかの間の安らぎを感じていたツナデ。だが、そこは幻術使いが支配する恐るべき場所だった……

次々と繰り出される幻術の罠。徐々に意識を書き換えられ、抵抗の意志さえ奪われていくツナデ。

最後の賭けに全てを懸け、見事勝利を収めた彼女だったが……

解放されたはずツナデの背後で、
暗い笑みを浮かべる影があった――。

おおっ、ツナデ様だ

ガッ ガッ

ツナデ様、お疲れ様です！

ツナデ様ア！！

息子がいつも
お世話になっております！！

ガッ ガッ

ああ



みろよいつ見ても
すげえ爆乳

歩きたびに
揺れすぎだろ

あー一度でいいから
揉んでみてえな



火影じゃなかったら
すぐ犯してやったのにな

おい、
そんなこと聞かれたら
ぶん殴られるぞ



ダメだな。。。

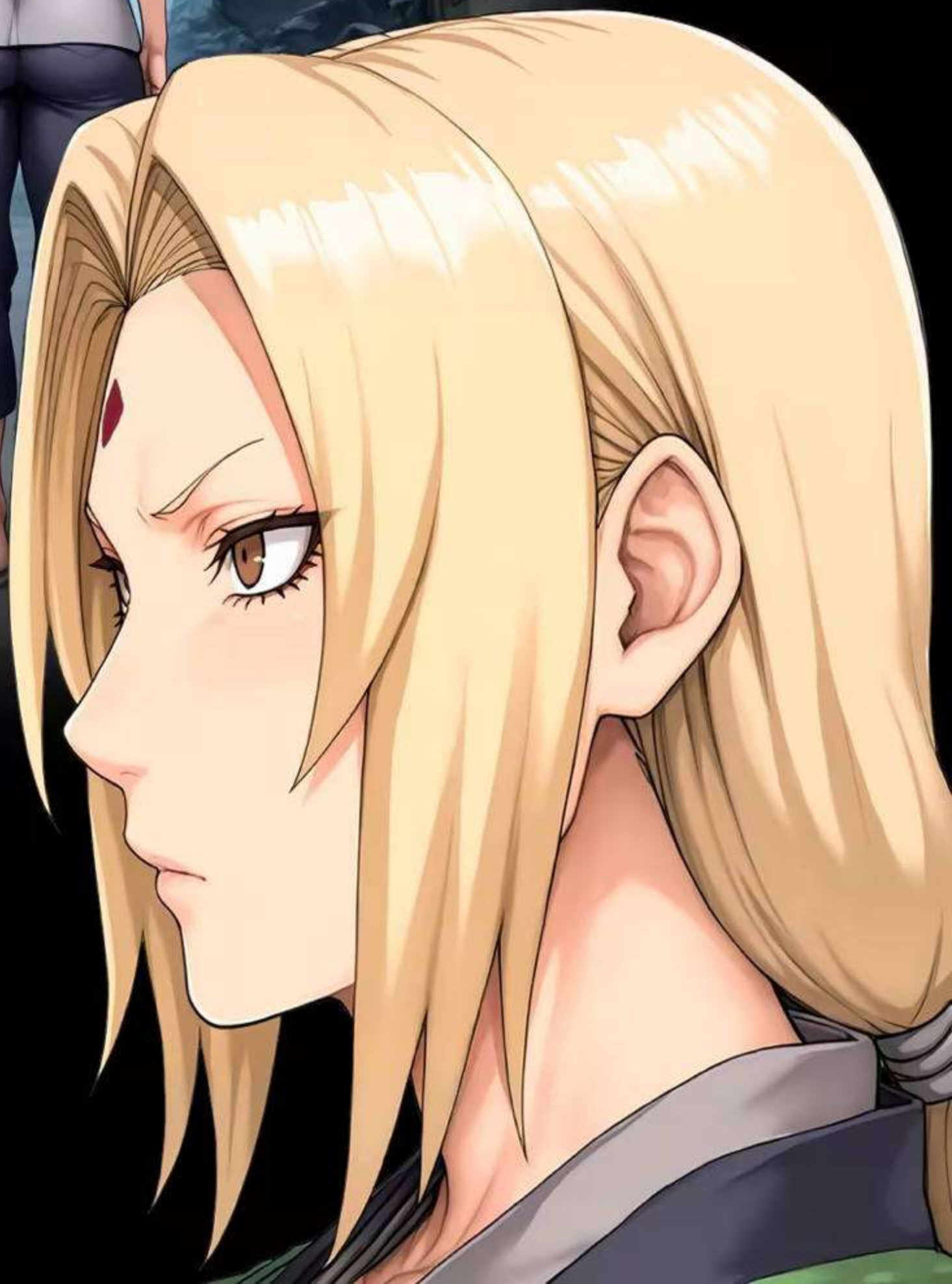
以前は気にも止めていなかった
私に対する男どもの卑しい視線で
体が熱くなってしまう。。。

もともと性欲は強い方だったが
あの旅館の一件以来、体がおかしい。。。



あの後、すぐに旅館が
あった場所に向かったが
そこは廃墟があるだけだった。。。

つまり、旅館全体が
奴の幻術だったということ
結局、何も手がかりはなし。。。か。。。



ジライヤなら
何か覚えているかも知れないが

幻術だったとはいえ、
派手にやりまくったから
顔を合わせづらい……

まあ、奴との賭けには勝ったから
最悪の事態にはならなかったが……

ああ、思い出してたら
余計にムラムラしてきた





前まではジライヤとの
セックス後くらいしか
したくならなかったのに……

あああああつ……クソツツ！
このままだと
業務に支障がでかねないし……

……



もう。。。ダメだ。。。

イッくうッ……

あゝっ♡



ツナデ様？

いらっしやいますか？

あ、ああ……いるぞ
どうした？

シズネか……

実は友人から町で評判の菓子を
いただいたのですが

チッ……
いりところだったのに

ツナデ様も一緒に
お召し上がりにならないかと

あー……

今はそれどころじゃない

わたしはいいから
お前が全部食べていいぞ！

そんなこと言って…
全部食べたら食べたで
後で怒るじゃないですかあー

入りますよおー

バッ…ま、待て！

こんな姿を
見られるわけには…

グイッ

ドロネ…

ガチャ

一緒に食べるから...

...外...行くぞ

ゼッ
ゼッ

くっ...

えっ?
中でいいじゃないですか

お茶いれますよ?

...ダメだ



えー……でも

い
い
か
ら
ッ
!!

わ、わかりましたよ……



うゝ腹が苦しい…

まあ、そのおかげで
性欲の方も収まったから
助かったがな

それにしても…
流行ってるだけあって
うまい菓子だったな

つい食べ過ぎてしまった

やり残した仕事もあるし
明日は。。。早く。。。起き。。。る。。。
。。。。



……森？
里の外か？

どうして私は
ここに立っているんだ？



ああ……これは夢か……

それにしても
私にしては珍しく
殺風景な夢だな

どうせなら
博打に勝ってる
夢がよかったな



ん？

なんかあつちの方……
やけに明るいな

はあッ!?

いくら欲求不満とはいえ
こんな夢を見るとは……
我ながら情けない……



……いや待てよ



どうせ夢なら
楽しむか

こんなデカチン
現実にあるわけないしな

おっ!!?

この感覚……っ……

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

あの時の……



ポタッ



んっ…

。。。っ!?

ここは。。。どこだ?

私はまだ夢を見て。。。

いや、この空気感は現実のもの。。。

おい! 誰かいるのか!

ちっ。。。いりところで!

いや、そうじゃない!

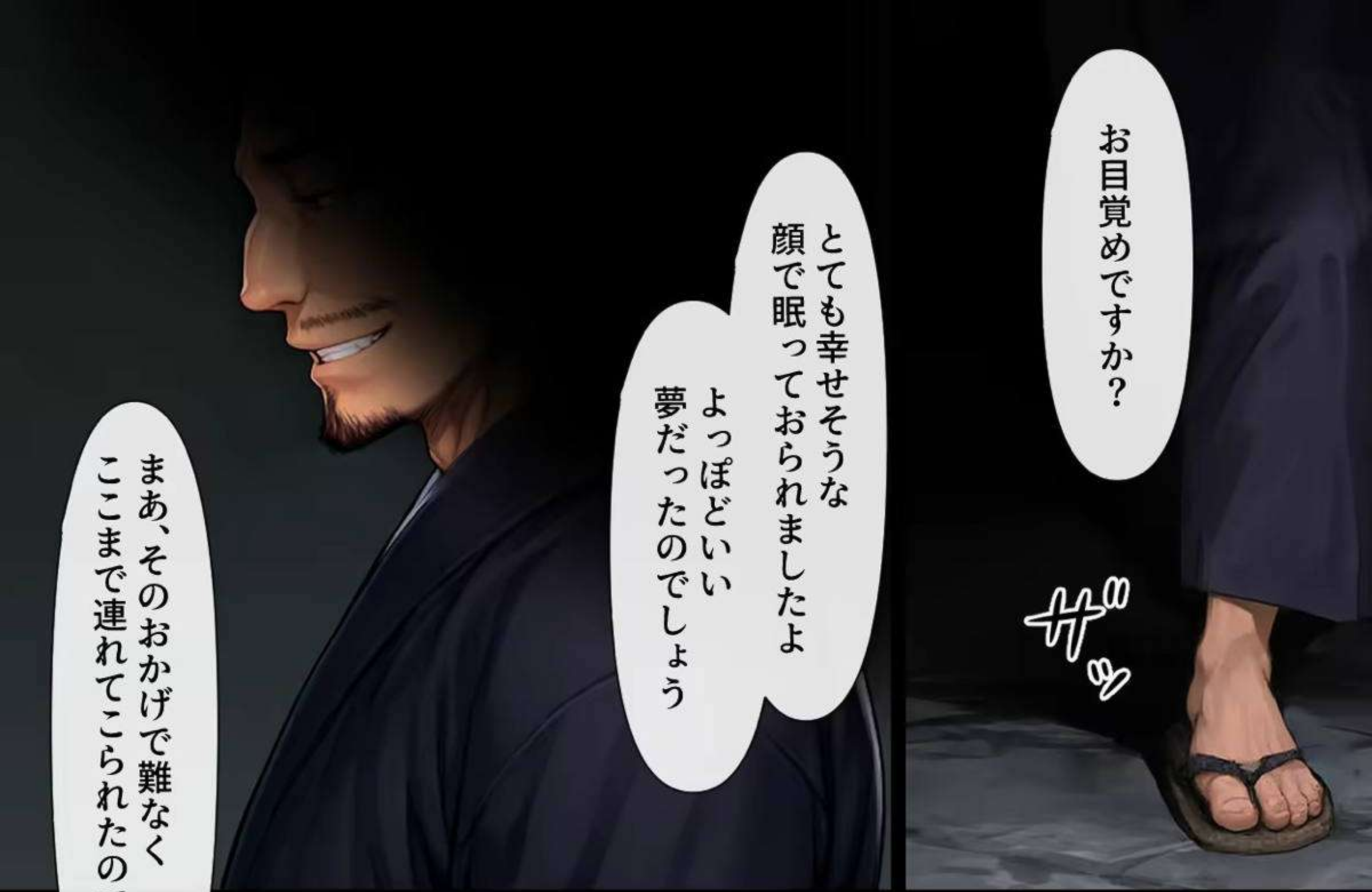
私は部屋で寝ていたはず。。。

くそっ。。。体が動かない。。。

ガチャ

一体誰がこんな真似を。。。





お目覚めですか？

とても幸せそうな
顔で眠っておられましたよ

よっぽどいい
夢だったのでしょう

まあ、そのおかげで難なく
ここまで連れてこられたのですが



ここには他に誰もいないので
ゆっくりお話ができますね

この声は……

お前はっ……旅館の……

お久しぶりですね
お元気でしたか？

黙れッ！

よくも……
よくもノコノコと
顔を出せたなア!!

……はアッッ

ご主人様に向かって
そんな口の聞き方はないだろ？

はぁッ!?・・・主人だと?

えええ何々何を言ってるの?

ああ、そうさ

賭けをしたのは
覚えているだろう?

あんたは負けて
俺の性奴隷になったんだよ

馬鹿なッ・・・

ち、違う・・・そんなはずはない・・・

勝ったのは私だ!!

なぜそう言い切れる?

まあいい・・・試してみれば
すぐに分かるさ

やめろッ

私に近づくなアアアッ!



くっ...

へろっ



あ...

ちゅっ



ほら、さっきの勢いはどうした？

。。。なんで。。。

アッ♡

くっくっく
舌が出ているぞ

んっ...

ちゅっ

ミッミッ

体が勝手に。。。っ

ミッミッ



嘘だ。。。さっきまでの。。。
こいつへの怒りが。。。薄れて。。。っ

あれ？

なぜ私は。。。

こいつのこと。。。嫌って。。。

はアッ♡

ちゅっ

ちゅ

んっ...
むちゅっ

ふッ

このまま堕とすのは
簡単だが面白くないしな

どれ…少し遊んでやるか

ハッ♡
アッ♡
ハッ♡

ハッ♡
ハッ♡

俺との口づけはどうだった？

少しは俺への忠誠心が
芽生えたんじゃないか？

。。。戻った

今のは。。。一体。。。
フウッ♡
ハッ♡

だ、黙れ…このっ

カス野郎お…

いいねえ

いつまでその威勢が
持つかな？



にゅっ

ぐっ……またっ……



ん

ん

や、やめ……ろ……



本当はババアのくせに

デカイ乳しやがって



うっせーな！

これは誰のモノか
言ってみろッッ

んぽおっ♡

♡♡♡

すっくすっく

すっくすっく

しゅっしゅっ

ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡

はアッ♡

誰のもの…
でも…ないっ…

ダメだ…^{こち}堪えろっ…

はッ

違うよなあああ!!

ギョッ



お♡

ツツ

ツツ

ツツ

や、やめてえええッッ！

ユレえッ

ハッ

アタマおかしくなるうッ

ハッ

はっ

オッ

ハッ

ダダええッ

ハッ

ハッ

いい機会だ
こいつを試してみるか

はぁ

くっくっ...

はぁ

こいつは面白いぞ
なんせ意思を持った
淫具だからな

ウィン

ウィン

チャクラを
食べて動くんだが

特に女が絶頂した時の
チャクラが好物でな...

それが伝説の三忍ともなれば
さぞかし悦ぶだろう

ま、待てッ

頼む！
やめてくれッ！

あっ
あう

にゅーん
にゅーん



心配するな

こいつがお前のチャクラを
食い潰す頃には

自覚ができているだろう…

自分は性奴隷だ
という自覚がな

性奴隷の自覚だと。。。誰がそんなものを。。。っ
わたしは。。。。。。

さあ、どこまで
耐えられるかな

木ノ葉の里の長。。。ツナデだ！



ああああッッ！



瞳中でドゲがうねって……

本当に……生きているようだ……

しかもコイツ……

私の弱いところを的確に……

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

マズイ……これではダメだ……
んぐっ……チャクラが……あり……

ಪ್ರಕಾಶಂ



ツナデが消えた!?

はい

朝礼の時間になっても
姿が見えず

里中を搜索したのですが
どこにも...

アイツの自宅は?

特には争ったような
形跡はありませんでした

ただ...

なんだ?

普段お使いの忍具も
全て残されておりましたので
何らかの任務とは...

.....

今、暗部が里の外の
搜索を進めております

わかった...何かあれば
すぐ知らせしてくれ

ツナデ。。。...

救時間後……

くっくくく……

そろそろ限界だろう

ガン

ドサッ

はーッ

はーッ

ドサッ

。。。力が。。。っ。。。



おい

呆けている暇はないぞ



あのチンポは。。。夢に出てきた・・・

ご褒美の時間だぞ

あ...

どうした？
欲しくないのか？

我慢する必要なんて
ないんだぞ？

うん

ヨロッ

ヨロッ

いい子だ

体が。。。動く。。。

さっきまで
力が入らなかつたのに...

本能に従え

そうすれば楽になる

本能？



そうだ。。。これは本能。。。
別におかしなことではない。。。

私の本能が。。。まんこが。。。
あのチンポで思いっきり
掻き回されたがっている。。。

！！

ロオ...

フフッ…

まず何をすれば
いいかわかるな？

はぁ

はぁ

そうだ
いいぞ

これで晴れて
おまえは私の性奴隷だ

デカイ…
さっきの玩具なんて
比べ物にならないくらい…



いや！

私は・・・そんなつもりでは・・・

何を迷っている？

別にいいじゃないか

近い・・・

ズッ

そうだ・・・こんなことをすれば
性奴隷だと認めたようなもの・・・

私の性奴隷の傍ら
火影を続けられたい
なにも不都合なことはないぞ

。。。そう。。。か。。。？
そんなことが
果たして許されるのか？

いや、火影とはいえ
女であれば
普通なことでは。。。
しかし。。。

しっ

ああ。。。
こいつのチンポ臭のせいで
考えがまとまらない。。。

そろそろ時間切れだ

残念だが。。。ご褒美もなしだな

わ、わかった

お前の。。。
性奴隷になるから。。。

レロッ

そのかわり。。。このことは
誰にも言わないでくれ

くっくくく…

淫具での愛撫が効いたようだな
俺への憎悪を忘れている…

ああ
誰にも言わないさ

それに自分が
どれだけおかしなことを
言っているのか
分かっていない…

おい…続けてもいいのか？

まあ、躰はこれからだがな

ああ、いいぞ

だが亀頭だけじゃなく
玉も舐めろ

玉？

ああ、敬意を持ってな

洗脳完了だ…

ほら、早くしろ

わ、わかった

ああもうっ……

ご褒美だっていうから
自由にしゃぶらせてくれると
思ったのに

あ……あ……

美味しそうな我慢汁が……

仕方ない……

私は奴隷……なんだから……

硬い…パンパンだ
こんなになるまで溜め込まれたザーメン…
一体、どんな味が…

ゴロゴロ

ゴロゴロ

ザー

ザー

いいぞ…手も使え

優しく刺激するんだ

こうか？

お、おおおッ

いいぞ、そのまま舐めろ

んっ…

ああっ…垂れきてる
もったいない…

ハアッ♡

ハア♡
ハア♡
ハア♡

もう限界だ……

おいッ！

もう……いいだろ……
早く……

先っぽを
舐めさせてくれっ！

限界……なんだ……

ハッ
ハッ……

まあ・・・いいだろう

あほ

あ



ああっ、
我慢汁美味しい……

はアッ♡

おいおい
がつつきすぎだ

我慢汁でこれなら……

おっ

はアッ♡

おおおおッ

フッポ

フッポ

フッポ

フッポ

フッポ

はアッ♡

はアッ♡

ハハハッいいぞ

性奴隷らしい下品な
フェラをするじゃないか

ハハハッ
いいぞ

グチャッ

グチャッ

グチャッ

ハハハッ



熱ッ
……

あああああ♡

ザーメンが……

喉奥にビュビュって

濃厚で……

美味しい♡

ドクンッ

んぐんぐん

んぐんぐん



なかなか良かったぞ

え……あつ……

それは……よかった……

こんなことを
褒められて嬉しいなんて……
こんな感覚は初めてだ……



さっきまでは自分が
気持ちよくなりた
い一心だったのに……今は……

……次、何をするか分かるな？

この人に……
気持ちよくなっ
てもらいたい……
これが奴隷とし
ての自覚なのか？



はい…

トロオ…♡

どうぞ…

もうチンポを迎い入れる
準備はできています…

グッ
グッ



幻術使い？

ツナデは
その幻術使いに
連れ去られたというのか？

おそらく……

なぜそう言える？

先日、ツナデ様が
行かれたという温泉旅館ですが
調べたところ、実在しない
ことがわかりました

（あの旅館か……）

おそらく旅館そのものが
敵の幻術だったのでしょう
それに帰ってこられた時の
ツナデ様は様子がおかしかった

幻術にかかったツナデ様であれば
里から連れ出すことは容易かと……

チツ……なぜワシは気づかなんだ
思えばあの時のツナデは
いつもと違っていた……

くッ……間に合え！

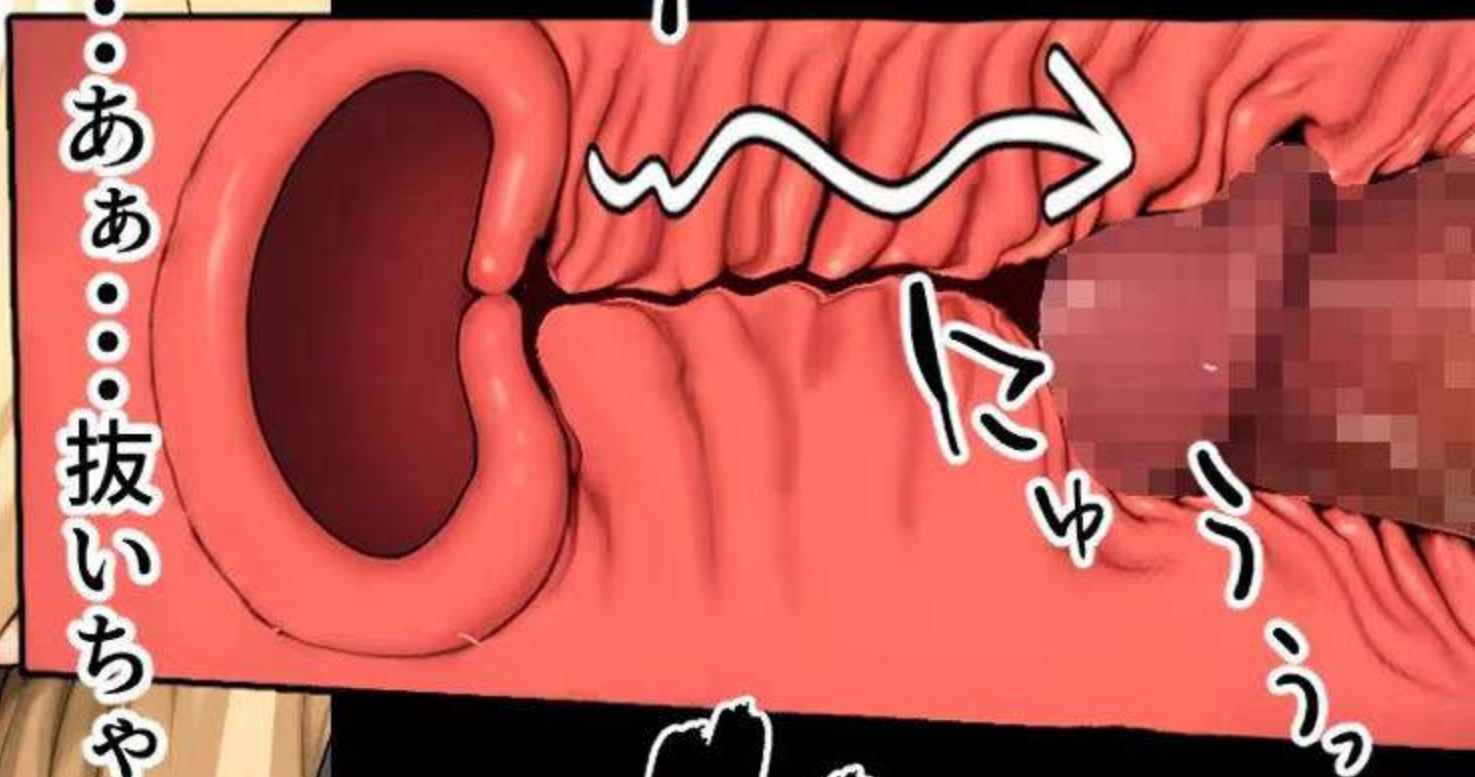
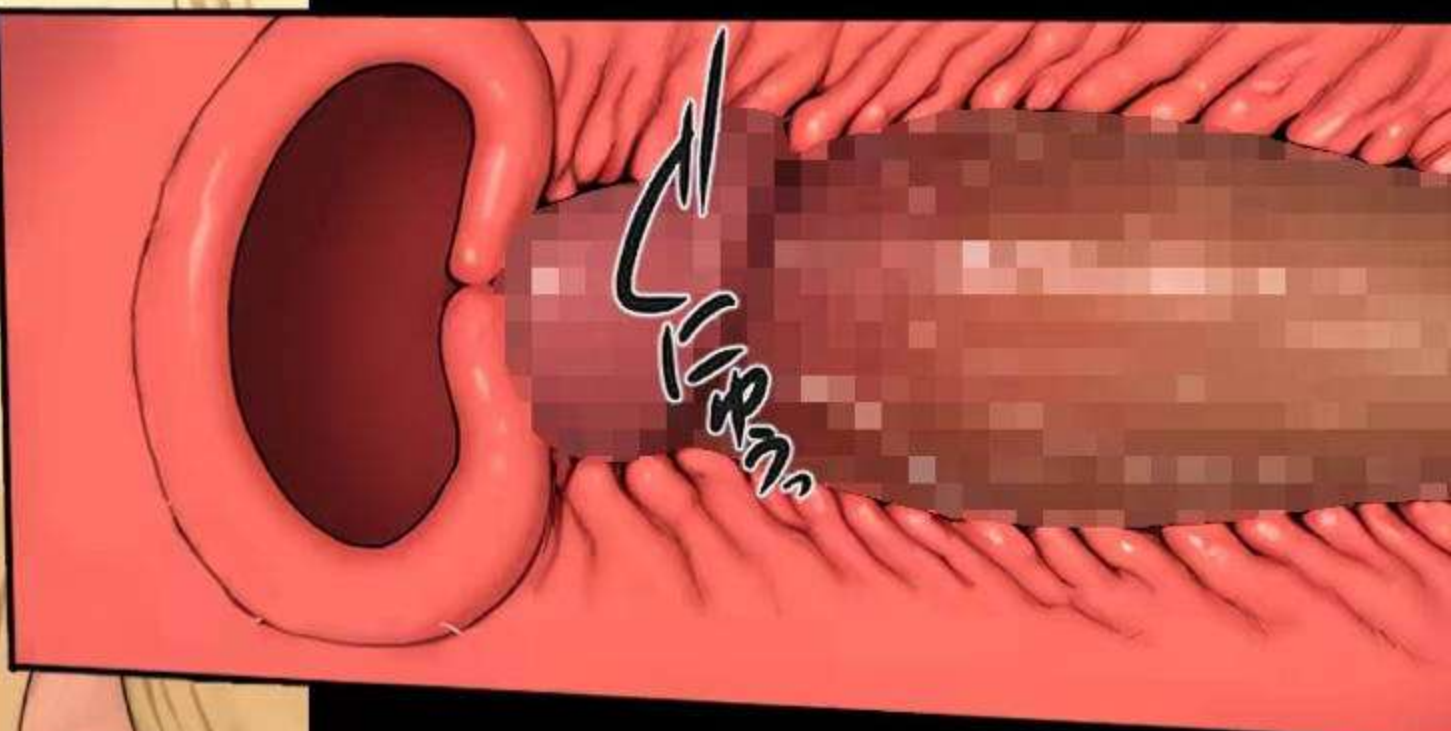


あ...

ググググ

たあ...
♡

おはようおはようおはよう





イグウウウー!!

イグウウウー!!

一突きでいくとはな…
淫具でかなりキテたか？

だがまだまだいくぞ

しっかりと俺好みの
穴にしてやるからな

ふっく
んっ…
んっ♡

おっ
おっ
おっ

おっ

ズキッ

ズキ

ほら自分から
腰を降ってみろ

ちっ

あゝイマイチだな
やはり捕虜経験のない女は
舐めが甘い……

ズン

フッ

ハッ

もっと激しく
打ち付けるんだよッ！

はいッ







ズ

あ

アッ! 何!?

ズ

そ、そこお♡

オッオッオッ
オッオッオッ
オッオッオッ

イ
イ
ッ
た
…
♡

今
の
「
ゴ
リ
ユ
」
で
イ
ッ
ち
ゃ
っ
た
…
♡
♡



おいおい、あのツナデ様が
まさか人前で失禁とはね

そんなに俺のちんぽが
気に入ったのか？

フツ…この様子だと
聞こえちゃいないな…

ん？

。。。。。。
こっちの具合も
見といてやるか…

はっ

はっ

ムッ

ムッ



お!!?

なんだあゝ
アナルに二本も
はいっちまったぞ

そこっ
違っ...

俺がいない間に
こっちも弄ってただろ

ズ
グ
グ
グ

あゝ
♡

あゝ
♡

いじりっし...あ...せんッ!

グ
グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ

嘘つけ、しっかり
感じてくるくせによ

ホントなのに...

やめ...
もうやめ...

アッアッアッ
アッアッアッ





まったく、手が汚れたぞ
あとで掃除させるからな

もうし……わけ
ありま……せん……っ……

おい、起きろ
呆けてないで次いくぞ

ふっく
ん……っ
ん……っ

情けない。。。
この人の前でこんな醜態を...

これでは奴隷失格だ



もっとな性奴隷らしく…
淫らな女にならないと

いいかかですかあ？

無理して若作りしてる女のまんこは！

ホントはババアだけどお

これまで…んっ…
た、短小チンポしか啜えて
こなかったんで…はっあ…
キツキツですよお！

あッ♡

アッ♡
アッ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

くははっ！

なかなかいい具合だぞ
膣壁が絡みついてくる

だがまだ足りんな
もっと締め付けろ

はいっ♥ハイツ♥
もっとキツくしますう

ああああっ
ちんぽの形が
はつきりとわかるッ

ちんぽ♥

ダメだ……っ……私ばかり……
気持ちよくなっ
いけないのに……

ギンッ

グリンッ

グリンッ♥

ツナデえ
いったいこれまでこのデカ乳を
何人に揉ませてきたんだ？

ちゅぽ

ちゅぽ

ひとり…
ジライヤだけッ…

ひとりだけで
こんなデカい乳首と
浅黒い乳輪になるかよ

これは…その…
自分で…してたから…

ん？なんだって？

アイツとのセックスにイッ
満足できなくて
一人でしてましたあ♡♡

だめ♡
だめ♡

はっ

あ♡あ♡あ♡

♡♡♡

なるほどな
まああいつが相手じゃ
仕方ないか

心配するな
これから俺が
お前のご主人様だ

ひとりでおナる
暇もないくらい
可愛がってやるからな

だから……
アイツとはもう別れろ

いいや……それは……

んっ……
むちゅっ

まんこの中
こんなにくちやぐちやに
しといて今さら真面目ぶるなよ

俺の性奴隷になりたいと
言ったのはお前の意思だろ？

んん？

……っ……それは……
そうですけど……

ズーッ

んぽおっ♡

本当に嫌なら
今すぐそのヘコヘコ動いてる
腰を止めてアイツの元へ
帰ってもいいんだぞ？

あ…あん
それは…ムリい…

あ…あん

あ…あん

腰が…
勝手に動くのお…

はち



だったら
どっちを選べばいいか
わかるよなあ！

わ、別れるッ
あんな奴いらないからあ！

わんわん

あう
あう

イッ
イッ

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ア
ア

ああいいぞ
このままたっぷり
腔内^{なか}射精してやる！

え……あ……あ
だめ……だ……
腔内^{なか}は……

今度こそ……
妊娠してしまう……
それはさすがに……

あっ♡
あッ♡

ずっ
ちゅ

ずっ
ちゅ

何を今さら
この前も
さんざん注がれて
アへってたろ

お前の子宮は
もうザーメンなしじゃ
満足しないぞ

それに……
俺はお前に俺の子を
孕んでもらいたいんだよ

ツナデ

あ……♡

う……う
ああ……

な……腔内^{なか}に……

下さ……

……

もちろんそうしてやるさ

んあー！

ドゥ

うっ

フェェー！！

ああ・・・嬉しい・・・

すーいーいーい♡

この方の…

まんこ
じゅぽじゅぽッ

あっ♡あっ♡あっ♡

子が孕めるなんて…

ズーッ

ほおおおっ

いくいく
イクウウウ♡

幸せ……



あ…あ♡
す、すごい射精で♡

子宮の中に…ザーメンが…
これ…妊娠するう…
今度こそ絶対に妊娠するッ♡

ムッ…

ズッ…



そろそろ夜明けか

部下からジライヤが
こちらに向かっていると
連絡があった

お前を助けに来たんだろうが
少し遅かったようだな



俺はここを離れるが、お前は残れ
やるべきことは分かっているな？

ドロォ...



ツナデええツ!!!





ツナデ……？

呼びかけに反応しない……
くっ……遅かったかっ……！

一人か……幻術使いはどっどこにいる……？

おい、ツナデっ……！



おお、ジライヤか

どうした？そんな顔して



帰るぞ

みんな心配している

ああ

ふっ

ソイツはもう、お前が知ってる
ツナデではないというのに……

幻術なしでも
俺の言いなりさ

お前は本当に可哀想な
男だよ……ジライヤ……



お前もそう思うだろ？
シズネ

